



榎並木とカフェテラス つくば駅周辺



松見公園の昼下がり



整然とした並木と高層集合住宅

時代を常に先駆ける大学

筑波大学学長 岩崎 洋一



東京高師、東京文理大、東京教育大とそれまで100年の歴史を持つ大学でしたが、三十二年前に筑波研究

学園都市に移転、筑波大学となりました。当時叫ばれた大学改革の先駆者となった新構想大学で、その特徴は三つあります。ひとつは、学部単位で強力だった自治機能を大学全体に統合したこと、いまの国立大学法人の理念を先取りしました。二つ目は研究教育組織で、これも学部単位で学際的に対応できなかったのを改め、教員は学系に、学生は学群と学類に編成し、柔軟性のあるしくみにしたこと。三つ目は国際的、国内的、地域的に開かれたことで、三十年前としては斬新な試みでした。

大学のスローガンは「筑波に根ざして世界に羽ばたく」、英文では「Original & Competitive」を掲げ、日本では例のない三人のノーベル賞受賞者を輩出するなど、独創的、先導的な大学となり、いまやTsukubaブランドが世界的に確立したと考えています。グローバル化の時代、国際競争力があり、リーダーシップのある人材を育てるのが大学の役割です。研究と教育は車の両輪で、国際的なレベルの研究成果を出せる教員と、それに応える学生を育てることに力を注いでいます。また産官学の連携も、知的財産本部の産学リエゾンセンターが民間との共同



筑波大学本部

研究に取り組み、ベンチャーも四十件立ち上げ、高い集積となっています。また大学院生の一、二年目は大学で、三、四年目は最新の設備のある他研究所で研究をして博士号を取るというしくみや、連携大学院での他の研究所からの客員教授の招聘など、多様な取り組みが成果を挙げています。

社会に対しては、開学当初から市民への公開講座の開催、県や市との包括協定による教員の派遣等の協力、つくばエクспレスのサイン計画に芸術系教員も参加し、この春からは大塚と筑波両キャンパスの結節点である秋葉原に、社会人対象のロースクールを開校し、評価をいただいています。

よく知られる学園都市プリンストンは、ニューヨークから約一時間、静かな学びの環境と先端の都市環境とを共有できる街です。つくばと東京も同じような位置関係になりましたから、つくばエクспレスの利点を積極的にプラスに活用していくつもりです。

“売れるつくば”と“動くつくば”
筑波大学芸術学系助教授 渡和由



地域は選ばれた時代に入りました。抜きでた個性のあるブランドが必要で、まず私たちはビジョン共有

型のワークショップを企画したので、”売れるつくば”というジョッキングなキーワードが多様な市民や専門家の参加を実現させました。そのなかから地域の姿が次第に発酵し、「つくばスタイル」ということばに結実し、いま地域のPRや啓発理念にもなっています。

たくさん出たアイデアをアイデア倒れにしないために、次のキーワードは”動くつくば”にしました。具体的に人が動くためには、概念や言葉ではなく、絵にして、みんなが場面を想像し、いいなあと共感する、そしてそれぞれが自らプロデューサーになるという方法が大切です。つくばは官主導でつくられた街ですが、これからは組織をリアフリーにして官と民と市民とが協働して動き、地域の構成員が街をつくり上げていかなければなりません。

街には景気が大切です。いまでは街は風景をつくってきました。しかし単に美しい”景”ではなく、人が心を動かすお金を落とす”気”にさせる、そんな環境の構築こそが重要で、それが景気をつくりだし、経済をいきいきさせるのです。それには工学的な技術とともに情緒を醸し出す芸術の両面が必要で、道にしてみつばには歩ける道は

筑波大学ロースクールを開校
秋葉原ダイビル(左)



筑波大学 産学リエゾン
共同研究センター



国際会議場
エポカルつくば



つくばシティセンターと
ナハホール

多い、しかし歩きたくない道はどれだけあるでしょうか。歩いて楽しいウキウキする街路をつくり出したいのです。つくばエクспレスが開通し、つくばスタイルフェスタ2005が開催され、ワークショップ以来のさまざまな提案が結実しました。研究学園駅の駅前広場は、会期中シンボルツリーのもとに花が飾られ、カフェもでき、コンサートも開かれます。限定的な期間ですが市民の広場となりました。これはUR都市機構と市民のプロデュースがあって実現したのですが、なんとか継続的なものにしたのです。

いずれにせよ、”売れるつくば”から始まったまちづくり活動は、行政や大学、UR都市機構、企業力が加わって”動くつくば”になり、ここまで展開することができました。つくばのまちづくりの目的は、「心の満足を得られる街」”つながるつくば+やさしいつくば”で、ようやくいま、キックオフです。



Q1ではまちなかコンサートも開催

つくばスタイルフェスタ2005 開催



アプローチを埋めるコスモスと筑波山



旧家を移築 衣食住を体験「手作り古民家再生住宅」



男の隠れ家「鶴太郎アートハウス」



こどもたちの人気が集まる「ポケモン・キッズ・ガーデン」



先進的な省エネ技術を家庭に ガスバピリオン



研究学園 駅前広場コンサート